

【農地の保全と活用の為、NPO 法人設立を願っております。】

様

印西市船尾 6 2 2 - 1 御園生 亮観
携帯 090 - 8748 - 2926

貸し農園計画なかなか具体策が見いだせずしております。

私が貸し農園を設立しても継承者が居なくては何も成らないので、集客と信頼を得る為下記の如く NPO 法人として設立し、耕作放棄地の活用と保全に成ればと思うように成って参りました。

稲刈り等ご多忙の日々と存じます。後日お伺いさせていただきます。

目 的

- ① 船尾の耕作放棄地の活用と自然環境の保全（NPO 法人として地域で運営）
- ② 「自然との共生」自然の営みに生かされて居る事の感得。
- ③ 農産物の栽培と販売等により、人と人、共に生きる環境の構築
- ④ SDGs 農地の保全による持続可能な環境の構築
- ⑤ 気候変動に伴う食糧危機等に対する分かち合う環境の構築

活動内容

- ① 耕作放棄地を借用し、貸し農園として提供する。
- ② 貸し農園利用者の直売所を設立。（共に寄り添う憩いの場所として運営）
- ③ 野菜の販売を持って栽培意欲を深める。
- ④ 収穫物を持って食事会やご接待を重んじ、会員同士の交流を図る
- ⑤ 苦労や収穫の喜びを共有する為、一部共同栽培を行う。

現在の活動

- ① そばの共同栽培 （耕作面積約 7 5 0 坪）
- ② ジャガイモの共同栽培 （耕作面積約 3 0 0 坪）
- ③ 大豆の共同栽培 （耕作面積約 1 0 0 坪）
- ④ その他、サツマイモ、落花生等、各種野菜の共同栽培

運営方法

- ① 家庭菜園として農地の利用者を募集する。
年間利用料を 5,000 円 30 m²（仮定）の農地を貸し農園として貸し出す。
当面は 24 区画。
- ② 趣旨賛同者の支援を仰ぎ「自然との共生」この重要性と理解を深める
- ③ 状況を見て、区画数を地主さんの了承の元に増やしていく。
- ④ SDGs 持続可能な環境の構築と孤独社会の解消として、農作物栽培を持って人と人、共に生きるよりどころの構築。
- ④ 栽培、管理、収穫のボランティアとしての協力を仰ぐ。

以上、お寺の活動として行って参りましたが活動の存続と農地の保全の為、NPO 法人として地域が運営し継承していかれたらと願って降ります。